

メルマガ 「いいテク・ニュース」 季語に遊ぶ 2020年1月22日 (Vol.157)

「アルフォンス・ミュシャ、絵画と俳句 その2 ミュシャの広告用ポスター」

## 「アルフォンス・ミュシャ、絵画と俳句 その2 ミュシャの広告用ポスター」



[https://commons.wikimedia.org/wiki/File:Alfons Mucha - 1902 - Cycles Perfecta.jpg](https://commons.wikimedia.org/wiki/File:Alfons_Mucha_-_1902_-_Cycles_Perfecta.jpg)

1894年の12月、舞台女優サラ・ベルナールとの奇跡の出会いから、ミュシャのポスターは一躍大評判となり、多くの企業からポスター制作の注文が舞い込みます。

ミュシャが手がけた広告用ポスターは煙火（の巻紙）、ビールやシャンパンの酒類、離乳食、ビスケット、鉄道、自転車まで多岐にわたります。

「季語に遊ぶ」では前9回、西洋美術と俳句の組み合わせを試みてきました。

第10回の今回は「アルフォンス・ミュシャ、絵画と俳句 その2 ミュシャの広告用ポスター」と題し、『ジョブ』『モエ・エ・シャンドン』『パーフェクタ自転車』など、どこかに憂いをふくんだ眼差し、慎しみ深く柔らかな物腰、控えめな官能性などを感じさせる女性を描いたポスターを取りあげました。

「ポスターは芸術ではない」というそれまでの常識を打ち破る芸術性とともに、ポスターが醸し出すイメージを大切に、売れる広告用ポスターを数多く制作し、時代の寵児となったミュシャの作品とその作品に合う俳句を選びました。

お楽しみください。

# 1. 『シヨブ』



<https://commons.wikimedia.org/wiki/File:Mucha-job.jpg>

1896年 リトグラフ 66.7 cm × 46.4 cm

ミュシャの代表作の一つで、ジョゼフ・バルドゥー社製の煙草（たばこ）の巻紙の広告用ポスターです。

女性の背後にある緑の文様は「JOB」を装飾化したモノグラム（組み文字装飾）。

ミュシャが描く女性の特徴となっている長く大きな巻き髪は当時「ミュシャのマカロニ」と形容され、ミュシャのみならず、アール・ヌーヴォーのトレードマークでもありました。

うっとりとした表情の女性が持つ煙草からたなびく煙が、画面に奥行きを与えています。

当時、煙火をたしなむ女性はいわゆる“新しい女”“解放された女”のシンボルマークのひとつであったことを物語っています。

広告用ポスターとして創作されましたが、販売用にも印刷されたほどの人気の高い作品でした。

ここでは「煙草」、「葉巻き」を詠みこんだ句を選びました。

### シクラメンたばこを消して立つ女

京極紀陽(きょうごく きょう) (1908-1981)

季語<シクラメン>で三春

### 羅や口つけ煙火焰を押して（羅＝うすもの、焰＝ほ）

北野平八(きたの へいはち) (1919-1986)

季語<羅>で晩夏

### 葉巻きの灰おとす暮春のセイヌかな

マブソン青眼(まぶそん せいがん) (1968-)

季語<暮春>で晩春

## 2. 『ルフェーブル・ユティル・ビスケット』



[https://commons.wikimedia.org/wiki/File:Alfons Mucha - 1896 - Biscuits Lef%C3%A8vre-Utile.jpg](https://commons.wikimedia.org/wiki/File:Alfons_Mucha_-_1896_-_Biscuits_Lef%C3%A8vre-Utile.jpg)

1896年 リトグラフ 61.4 cm × 44.4 cm

健康的で若いチャーミングな女性が、ケシの花や小麦の穂を髪に飾り、ドレスにも鎌と麦のモチーフが描かれ、豊穡の女神のイメージで、誘うような眼差しで「ビスケットはいかが？」とさし出しています。

ケシの花や小麦の穂などは商品の原材料をヴィジュアルに表現しているのでしょう。

下部の半円形の部分は、1897年のカレンダー用であることを示し、中央右で会社名の頭文字「LU」を図案化した文字が描きこまれています。

売りたいのはビスケットですが、画面の主役は若いチャーミングな女性であるところにミュシャの戦略が見えます。

ここでは「ビスケット」を詠みこんだ句を選びました。

### 秋もはや熱き紅茶とビスケット

高浜虚子(たかはま きよし) (1874-1959)

季語<秋>で三秋

### 聖夜迎ふ数字かたどるビスケット

有働亨(うどう とおる) (1920-2010)

季語<聖夜>で仲冬

### 暖かや鳥の形のビスケット

西村和子(にしむら かずこ) (1948-)

季語<暖か>で三春

### 3. 『モナコ・モンテカルロ』



<https://commons.wikimedia.org/wiki/File:Alfons Mucha - Monaco Monte Carlo.jpg>

1897年 リトグラフ 110.5 cm × 76.5 cm

鉄道会社の旅行ポスターは19世紀後半の鉄道網の発展・整備にともなって盛んに制作されました。このポスターはパリからリヨン、マルセイユを結ぶP.L.M.鉄道のポスターです。カンヌ、ニースからモンテカルロ（モナコの首都）に至る地中海沿岸は“コート・ダジュール”（紺碧海岸）として時に人気がありました。青い海を背景にした女性の夢見るような姿が描かれています。円形にアレンジされたライラックや菫（すみれ）、紫陽花（あじさい）などによるゆるやかな曲線の茎は汽車の車輪とレールを表現しています。右下に会社名とかの文字情報が入って、最下段には「豪華列車で16時間の旅」とあります。

ここでは地中海の“コート・ダジュール”から「紺碧の海」を詠んだ句を選んでみました。

### 秋潮の紺碧変ること迅し（迅し＝はやし）

阿部みどり女（あべ みどりじょ）（1886-1980）

季語＜秋潮＞で三秋

### 紺碧の波にたためる日傘かな

上村占魚（うえむら せんぎょ）（1920-1996）

季語＜日傘＞で三夏

### 紺碧にそまりたくなり泳ぎ出す

和田耕三郎（わだ こうさぶろう）（1954-）

季語＜泳ぎ＞で晩夏

#### 4. 『ムーズ・ビール』



[https://commons.wikimedia.org/wiki/File:Alfons Mucha - 1897 - Bi%C3%A8res de la Meuse.jpg](https://commons.wikimedia.org/wiki/File:Alfons_Mucha_-_1897_-_Bi%C3%A8res_de_la_Meuse.jpg)

1897年 リトグラフ 154.5 cm × 104.5 cm



フランス北東部からベルギー、オランダを経て北海へと注ぐ大河、ムーズ川の名を商標としたビールのポスターです。

頬づえをついた健康的な女性がビールを片手に微笑んでいます。

女性の髪飾りは『ルフェーブル・ユティル・ビスケット』と同様にビールの原材料である大麦やホップとけしの花が描かれ、ここでも長い髪が装飾文様に広がり、背後の樹木に巻きついた葛（つた）とともに画面に躍動感を与えています。

背景には明るい色が使用され、ビールのポスターにふさわしく陽気なムードが漂っています。

画面下部の単色で描かれた部分は、ミュシャではなく別人の手によるものです。

ここでは三夏の季語「ビール」を詠みこんだ句を選びました。

### 乙女らの喉美しくビール飲む

今泉貞鳳(いまいずみ ていほう) (1926-2016)

### 嘘ばかりつく男らとビール飲む

岡本眸(おかもと ひとみ) (1928-)

### 黒ビール白夜の光すかし飲む

有馬朗人(ありま あきと) (1930-)

## 5. 『ネスレ離乳食』



[https://commons.wikimedia.org/wiki/File:Mucha-Nestl%C3%A9%27s\\_Food\\_for\\_Infants-1897.jpg](https://commons.wikimedia.org/wiki/File:Mucha-Nestl%C3%A9%27s_Food_for_Infants-1897.jpg)

1897年 リトグラフ 72 cm × 34.5 cm

1866年創業の世界最大の食品・飲料会社 Nestle の主要商品は、当初ベビーフードでした。ドイツ語で Nestle は「鳥の巣」を意味し、画面上部の左右にはネスレ社のロゴにちなんだ母鳥とひなが描かれています。創業者で薬剤師のアンリ・ネスレは母乳で育つことのできない新生児のためにベビーフードを開発。母乳や代替品も受けつけなかった早産児にも効果があったことで、またたく間にヨーロッパ各地で広く販売されるようになりました。母親の背後にはビザンチン風の装飾がちりばめられています。ベビーチェアには愛情を示すハートが描かれ、カバーの人参の絵は子どもの栄養を象徴して、聖母マリアと幼子イエスの伝統的な「聖母子図」のイメージと重なっています。

ここでは「離乳食」を詠みこんだ句を選びました。

## 土用太郎朝から焦す離乳食（土用太郎＝どようたろう）（焦す＝こがす）

文挾夫佐恵（ふばさみ ふさえ）（1914-2014）  
季語＜土用太郎、土用の一日目のこと＞で晩夏

## 一匙の栗金色に離乳食（一匙＝ひとさじ）

都筑智子（つずき ともこ）（1931-）  
季語＜栗＞で晩秋

## 小鳥来るひとさじからの離乳食

鶴岡加苗（つるおか かなえ）（1974-）  
季語＜小鳥来る＞で仲秋

## 6. 『モエ・エ・シャンドン』



『モエ・エ・シャンドン：グラン・クレマン・アンペリアル』  
1899年 リトグラフ 60 cm × 20 cm  
[https://commons.wikimedia.org/wiki/File:Mucha-Mo%C3%ABt\\_%26\\_Chandon\\_Cr%C3%A9mant\\_Imp%C3%A9rial-1899.jpg](https://commons.wikimedia.org/wiki/File:Mucha-Mo%C3%ABt_%26_Chandon_Cr%C3%A9mant_Imp%C3%A9rial-1899.jpg)



『モエ・エ・シャンドン：シャンパン・ホワイト・スター』  
1899年 リトグラフ 60 cm × 20 cm  
[https://commons.wikimedia.org/wiki/File:Mucha-Mo%C3%ABt\\_%26\\_Chandon\\_White\\_Star-1899.jpg](https://commons.wikimedia.org/wiki/File:Mucha-Mo%C3%ABt_%26_Chandon_White_Star-1899.jpg)

18世紀半ばに創業し、現在でも世界有数のシャンパン・メーカーであるモエ・エ・シャンドン社のポスター。

モエは創業者、シャンドンはその娘婿。

2つのポスターは2種類のシャンパンの特徴を対照的に描き分けています。

左の『モエ・エ・シャンドン：グラン・クレマン・アンペリアル』は辛口のシャンパンで、宮殿のような室内を背景に、オリエント風の衣装と葡萄の葉の髪飾りと豪華な宝飾品で着飾ったプルネットの女性。

対して右の『モエ・エ・シャンドン：シャンパン・ホワイト・スター』は自然の山野を背景にして、収穫した葡萄を手に肩を出した薄い衣装をまとい、微笑を浮かべたブロンドの女性。

縦長の枠の中に正面を向いた女性を配した同じようなスタイルのポスターですが、辛口と甘口のシャンパンのイメージをよく表わしています。

ミュシャはこの会社のポスター以外にも、メニューやポストカードなどのデザインもしていました。

ここでは、「シャンパン」「発泡酒」を詠みこんだ句を選びました。

## 月を待つシャンパンの栓ぽんと抜き

星野椿(ほしの つばき) (1930-)

季語<月を待つ=月見>で仲秋

## 昼寝に誘ふ発泡酒となりにけり

(昼寝=シエスタ) (誘ふ=いざなふ) (発泡酒=カバ、スペインのスパークリングワイン)

中原道夫(なかはら みちお) (1951-)

季語<昼寝>で三夏

## シャンパンの泡極小の月夜かな

天野小石(あまの こいし) (1962-)

季語<月夜>で三秋

7. 『パーフェクタ自転車』



[https://commons.wikimedia.org/wiki/File:Alfons Mucha - 1902 - Cycles Perfecta.jpg](https://commons.wikimedia.org/wiki/File:Alfons_Mucha_-_1902_-_Cycles_Perfecta.jpg)

1902年 リトグラフ 53 cm × 35 cm

パーフェクタはイギリス製の自転車で、フランスでも販売されていました。  
どこか憂いを含んだ、夢見るような目をした少女がハンドルにもたれかかっています。  
自転車の広告用のポスターですが、ブランド名が上部に記されているだけで、画面の大半を占める少女の豊かな髪と服のフリルが風になびくさまに目がいきます。  
商品、製品そのものよりも、その商品が醸し出す雰囲気、イメージを売り込む戦略です。  
自転車は当時、最先端の流行で、特に女性に支持されて普及しました。

ここでは「自転車」を詠みこんだ句を選びました。

### 自転車の前傾姿勢夏ひらく

伊丹公子(いたみ きみこ) (1925-2014)  
季語<夏ひらく>で初夏

### 青芝に自転車寝かせおく恋よ

正木ゆう子(まさき ゆうこ) (1952-)  
季語<青芝>で三夏

### 自転車に昔の住所柿若葉

小川軽舟(おがわ けいしゅう) (1961-)  
季語<柿若葉>で初夏

私も詠んでみました。

## ならび漕ぐペダル初恋黄水仙

白井芳雄

季語<黄水仙>で仲春

今回は「アルフォンス・ミュシャ、絵画と俳句 その2 ミュシャの広告用ポスター」をお届けしました。

次回もミュシャの作品をお届けします。

全体を通じての参考文献、出典：島田紀夫著

『アルフォンス・ミュシャ

アール・ヌーヴォー・スタイルを確立した華麗なる装飾』(六耀社)(1999年)

ISBN4-89737-366-2 C0071

ミュシャ・リミテッド編・島田紀夫監訳

『アルフォンス・ミュシャ 波乱の生涯と芸術』(講談社)(2001年)

ISBN4-06-210541-1 C0071

千足伸行著

『ミュシャ作品集-パリから祖国モラヴィアへ-』(東京美術)(2012年)

ISBN978-4-8087-0946-4 C0071

海野弘解説・監修

『アルフォンス・ミュシャの世界 2つのおとぎの国への旅』

(パイ インターナショナル)(2016年)

ISBN978-4-7562-4789-6 C0071

大友義博監修

『もっと知りたいミュシャの世界』(宝島社)(2019年)

ISBN978-4-8002-6906-5 C9471

ミュシャ財団監修

『ミュシャ 華麗なるアール・ヌーヴォーの世界』(小学館)(2019年)

ISBN978-4-09-682288-3 C0071

飯田龍太・稲畑汀子・金子兜太・沢木欣一監修

『カラー版 新日本大歳時記 愛蔵版』(講談社)

ISBN978-4-06-128972-7

『角川俳句大歳時記 新年』(角川学芸出版)

ISBN4-04-621035-4 C0392

『角川俳句大歳時記 春』(角川学芸出版)

ISBN4-04-621031-1 C0392

『角川俳句大歳時記 夏』(角川学芸出版)

ISBN4-04-621032-X C0392

『角川俳句大歳時記 秋』(角川学芸出版)

ISBN978-4-04-621033-3 C0392

『角川俳句大歳時記 冬』(角川学芸出版)

ISBN4-04-621034-6 C0392



本間美加子  
『日本の365日を愛おしむ』（東邦出版）  
ISBN978-4-8094-1652-1 C0076

参考サイト：フリー百科事典ウィキペディア (Wikipedia)

最後までお読みいただきありがとうございました。

(株)技術情報センター メルマガ担当 白井芳雄

本メールマガジンのご感想や本メールマガジンへのご意見・ご要望等 [melmaga@tic-co.com](mailto:melmaga@tic-co.com) まで、  
どしどしお寄せ下さい。

|   |
|---|
| 株式会社 技術情報センター 〒 530-0038 大阪市北区紅梅町 2-18 南森町共同ビル 3 F<br>TEL : 06-6358-0141 FAX : 06-6358-0134 E-mail : <a href="mailto:info@tic-co.com">info@tic-co.com</a> |
|---|